



# 社会を読み解き 広がる未来

## ニュース時事能力検定試験

### ニュース検定の出題例

**2級** 「気候変動適応法」が2018年、施行されました。地球温暖化の「適応策」の例に当てはまらないものを、次から一つ選びなさい。

- ① 温室効果ガス排出量の削減
- ② 河川の堤防のかさ上げ
- ③ 高温に耐える農作物の品種開発
- ④ 熱中症対策のための情報発信

**3級** 国の2019年度予算(年度当初の一般会計)について、正しい説明を次から一つ選びなさい。

- ① 総額100兆円を超えた。
- ② 歳出のうち、社会保障費は前年度から激減した。
- ③ ふるさと納税により国の税収が大幅に増えた。
- ④ 新たな借金(国債発行)はゼロだった。

**5級** 古紙を比較的多く使い、環境にやさしい製品に表示されるマークを、次から一つ選びなさい。



(2019年度検定問題より抜粋) ① 資源 ② 資源 ③ 資源 ④ 資源

### 11月の検定 申し込み受け付け中

ニュース検定は11月24日(日)、全国41都市で実施されます。現在申し込み受け付け中です。公式サイトのほか、全国の主要書店などで配布する申込書(検定料は郵便局から払い込み)を使って申し込みます。個人受検の検定料(税込み)は1級6500円、2級4500円、準2級3500円、3級3000円、4級・5級2500円。公式教材は全国の主要書店のほか、まなぶ@朝日新聞e-shopでお買い求めいただけます。お問い合わせは朝日新聞社教育総合本部(03・5540・7730)まで。

「ニュースを読み解き、活用する力を養う」「ニュース検定」(ニュース時事能力検定試験)は、様々な教育現場で採り入れられている。学生たちは社会への関心をいかに高め、「時事力」を身につけているのか。検定に取り組む専門学校と大学を訪ねた。

## 専門に役立つように 大阪滋慶学園の8校

医療・看護などの専門学校。学生たちは4人ほどの班を展開する大阪滋慶学園は今年度、8校で計1450人の学生がニュース検定に挑戦する。時事力を鍛え、将来の仕事に役立ててもらおうのがねらいだ。

大阪医療福祉専門学校(大阪市)の視能訓練士学科は、11月に3級を受ける。今夏にあった検定対策の授業では、政治、経済、国際分野を学んだ。

「英国のEU離脱」がテーマの班は疑問を出しあい、授業の最後の発表で「移民受け入れに不満があった」などと理由をまとめた。



ニュース検定対策の授業で、調べた内容を発表する大阪医療福祉専門学校の学生たち

1年の道管美希さん(19)は「ニュースは見えていたつもりだった」が、自分で調べると「新たな発見も多かった」という。

大阪医療技術専門学校(大阪市)の医療心理科も、検定対策の授業をしている。「心理や福祉の分野では、それぞれの人の価値観を大切にしている。世の中にはいろいろな価値観があることに気がついて欲しい」。小川正子教務部長は、学生たちにこう語りかけている。

大阪滋慶学園の橋本勝信常務理事は、専門学校生が時事を学ぶことについて「早い時期に職業を選択し、専門知識を学ぶからこそ、意義が大きい」と考える。「専門知識と社会とのつながりが見えてくれば、将来にいろんな可能性があることが分かる。自ら学ぶ意欲もわいてくるし、仕事の幅も広がる」とニュース検定に期待を寄せている。

## 就活にも生きる学び

### 昭和女子大学

昭和女子大学(東京都世田谷区)は、卒業生の就職率が女子大のなかで9年連続で1位(卒業生数1千人以上、大卒通信調べ)。複数の学科で、ニュース検定に取り組んでいる。

国際学部英語コミュニケーション学科は1年生が3級、3年生が準2級以上に挑む。検定の対策は自学自習が中心だ。「キャリア基礎論」の授業で公式教材と練習問題を配布。練習問題は、学生が自分で答え合わせをして提出する。

同学科をこの春卒業し、全日本空輸(ANA)に客室乗務員(CA)職で就職した新野尾里歩さん(23)は、学生の時に2級に合格した。

「もともと時事に興味がある方ではなかった」というが、検定で学んだことで興味がわき、新聞も読むようになった。「ANAの採用面接でも、資格欄の『ニュース検定2級』に注目してもらえた。社会の動きと会社を結びつけた質問にも、自信を持って答えることができた」と振り返る。

同大キャリア支援センターの磯野彰彦センター長は「採用面接の際には、世の中の動きを知っているかどうかを見られるが、最近ではニュースを見ない学生が多い。検定合格という目標を持つことでニュースに敏感になってもらいたい」と検定活用の意義を説明する。

## 異なる考え 知るきっかけに 大石裕・慶応大教授

日本マス・コミュニケーション学会会長などを務めた大石裕・慶応大教授にニュース検定の意義について聞いた。

ネット時代を生きる若者にとって、ツイッターでのつぶやきと新聞やテレビのニュース、これらの価値はほぼ同じようです。

また、情報の表面的な面白さに気を奪われるあまり、出来事の意味や背景を考えることは得意ではないと話す人もいます。だからこそ言いたいのです。「新聞を読みなさい」。新聞を通じて、自分とは違う考えを持つ人が世の中にいること、出来事の歴史

的な背景を知ることができます。ただ、活字にじっくり接した経験が少ない若者にとって、新聞を読むのは大変なことかもしれません。新聞との距離を一気に縮めてくれるものが、まさにニュース検定です。検定をめざした学習やメディアに接する経験を通じて、社会を読み解くための基礎知識と思考力は飛躍し、社会を見る目も大きく変わるはずです。

ニュース検定は、朝日新聞社や毎日新聞社など全国の31の新聞社・放送局が主催しています。2007年度からの志願者数は累計43万人を突破しました。

SNS、動画サイトの普及で、情報入手するルートが多様化する現代。自分で情報を手に入れ、真偽を判断する力が必要です。ニュース検定は現代社会を読み解く総合的な「時事力」を養います。

## ニュース検定「時事力」養う

検定では知識を問う問題だけでなく、図やグラフと記事を組み合わせ複合的に考える問題も出題。考える力が試されます。

検定の公式教材は毎年春に改定され、最新のニュース、旬の話題が盛り込まれています。2・5級の検定問題の約6割は公式教材から出題されるため、受験対策に最適です。

ニュース検定は全国約400の大卒の学生が受検しています。また、約200大学がキャリア教育などに活用しています。新聞を愛読するシニア層からも「検定受検で久しぶりに達成感が味わえた」といった感想が寄せられています。